

政令市
最大規模！



令和7年 3月10日
北九州市環境局

PRESS RELEASE

複数のスーパーや収集運搬事業者、行政等が連携し、 五方良しの『北九州食品廃棄物リサイクルモデル』を構築！ 地域企業と北九州市長の共同会見を開催します

スーパーから発生する野菜などの食品廃棄物のリサイクルは、排出事業者における分別の手間や処理コストが増えることから、市内では焼却処理が中心で、これまでリサイクルが進んでいませんでした。

今回、市内スーパーなどの排出事業者や収集運搬事業者の壁を乗り越え、スーパー間の収集運搬を効率化し、リサイクルへ移行するコスト増を低減することで、地域企業と行政が連携した『北九州食品廃棄物リサイクルモデル』を構築しました。

本取組は、(1)地域の複数のスーパー、(2)収集運搬事業者、(3)リサイクル企業、(4)農業事業者と(5)行政の連携により、食品資源が地域で循環し、各々の参加者にもメリットがある『五方良し』のモデルであり、行政と地域企業が連携した事例では『政令市最大規模』となります。 【事業概要:別紙1のとおり】

令和7年4月から、排出事業者5社の40を超える店舗で運用を開始する予定ですが、事業開始に先立ち、関連事業者と北九州市長による共同会見を開催しますので、ぜひ取材をお願いします。(本件は、令和7年1月24日にお知らせした共同記者会見の日程を変更して、再度お知らせするものです。)

記

- 日時 令和7年3月17日(月) 13:20~14:00
- 場所 北九州市役所 3階 特別会議室A
- 参加者 【参加者名簿:別紙2のとおり】

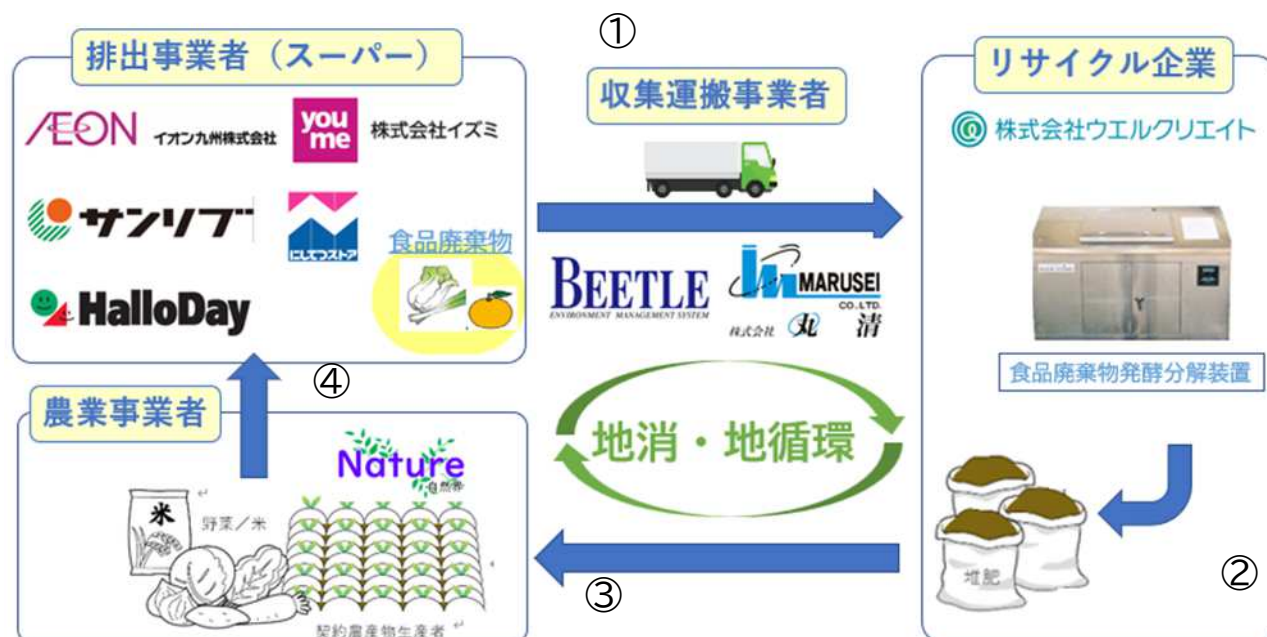
(1)市内スーパー	・イオン九州株式会社 ・株式会社イズミ ・株式会社サンリブ ・株式会社西鉄ストア ・株式会社ハローデイ
(2)収集運搬事業者	・株式会社西原商事ホールディングス ・株式会社丸清
(3)リサイクル企業	・株式会社ウエルクリエイト
(4)農業事業者	・株式会社Nature
(5)行政	・北九州市役所

- 内容
 - ・ 武内市長 挨拶・取組概要の説明
 - ・ 参加企業 本モデルへの期待
 - ・ 質疑応答
 - ・ 写真撮影

【問合せ先】
環境局サーキュラーエコノミー推進課
担当：正野（課長）、玉井（係長）
電話：093-582-2630

北九州食品廃棄物リサイクルモデルの概要

■ 事業イメージ



- ① 市内のスーパーから収集運搬事業者が食品廃棄物を効率的に収集
 ② 食品資源循環リサイクルセンター（若松区内）の食品廃棄物発酵分解装置で食品廃棄物を分解、約2か月かけて堆肥化
 ③ 堆肥を土壌改良剤として、地域の農家等に提供し、農作物を生産
 ④ 収穫された農作物などを食品関連事業者などに販売・活用

■ 参加事業者と各事業者のメリット（五方良し）

	参加事業者	メリット
(1)排出事業者 (スーパー)	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン九州(株) ・(株)イズミ ・(株)サンリブ ・(株)西鉄ストア ・(株)ハローデイ 	食品リサイクル法への対応 ・食品小売業：60%
(2)収集運搬 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)西原商事ホールディングス ・(株)丸清 	サーキュラーエコノミー（循環経済） 関連ビジネスの拡大
(3)リサイクル 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウエルクリエイト 	
(4)農業事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)Nature 	肥料コスト低減と持続的な農業生産 方式の確立
(5)行政	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 	事業系一般廃棄物の削減

北九州食品廃棄物リサイクルモデル 共同記者会見 参加者名簿

会社名		役職	お名前
スーパー	イオン九州(株)	執行役員 人事総務本部 本部長 兼 健康経営推進責任者 兼 サステナブル推進責任者	金子 亮輔
	(株)イズミ	執行役員 マーケティング本部 本部長	沼本 真輔
	(株)サンリブ	執行役員 総務管理本部 統括	坂本 敬
	(株)西鉄ストア	総務人事部 部長	菊武 直樹
	(株)ハローデイ ホールディングス	施設管理部 部長	宮川 雄一郎
収集運搬	(株)西原商事 ホールディングス	代表取締役社長	西原 靖博
	(株)丸清	代表取締役社長	多田野 靖泰
リサイクル企業	(株)ウエルクリエイト	代表取締役会長	松尾 康志
農業法人	(株)Nature	代表取締役	天野 克寛

※敬称略、50音順